

～佐野市が導入する「トイレトレーラー」について(第2弾)～

まず、トイレトレーラーの導入にあたり、難しい状況の中で担当課として尽力している危機管理課の方々には頭が下がる思いです。佐野市が導入するトイレトレーラーですが、けん引車両とトイレトレーラーは1月末までの納車、関係課による研修は2月中を目途に実施、3月上旬に「道の駅どまんかたぬま」に設置予定となっています。

トイレトレーラーは展示ではなく、利用できる状態で設置されます。私は、導入検討段階より、トイレとして利用できる状態での設置は迅速な災害対応の観点から適さず、加えて、設置場所についても、利用頻度が比較的高い駐車スペースを潰しての設置は好ましくない旨を折に触れて発言してきました。佐野市内で災害等が発生し、トイレトレーラーの設置が必要となった場合、汚水タンクは処理せずにそのまま設置場所まで運ぶ計画(汲み取り等は現地で行う想定)とのことですが、汚水タンクがいわゆる満タンだった場合や満タンに近い状態だった場合はどうするのでしょうか。災害時、実際にトイレトレーラーが設置された現場の混乱が予想できてしまいます。

私は、昨年10月に総務常任委員会の行政視察で先進地として富山県魚津市を訪問し、その後11月に再度単独で訪問し、魚津市の担当職員より様々な話を聞き、その後、本市の担当課と情報を共有しています。私は、トイレトレーラーの導入自体に反対ではなく、「導入ありき」とも思ってしまう状態での導入に対して異議を唱えてきました。しかしながら導入決定以降は、少しでも物事が前に進むように担当課に対して働きかけを行ってきました。乗り越えなければならない課題はありますが、引き続き、佐野市民の命を守ることを最優先に動いていきます。

～気になること～

「国際防災拠点さの」の取組の一環として、トイレトレーラーが導入されるわけですが、その「国際防災拠点さの」は先行きが不透明な状況です。皆さんはどう思いますか？

(※「第1弾」については、「令和7年・年末号」に書いてありますので、そちらもご覧ください。)



【富山県魚津市が導入したトイレトレーラー(左)と車内のトイレ(右)】

～小林史明衆議院議員、宮路拓馬衆議院議員を訪問～



【左・小林史明前環境副大臣、右・宮路拓馬前外務副大臣(衆議院第一議員会館)】

昨年12月に小林史明衆議院議員、宮路拓馬衆議院議員の事務所を訪問しました。

小林史明衆議院議員は、デジタルやDXなどの最先端技術等の取組に力を入れておられ、今回はご地元・広島県福山市の「Park-PFI」や「河川敷地の民間等活用」などについてお話をいただきました。

宮路拓馬衆議院議員は、外務副大臣在任時、日パの関係強化等のためパラオ共和国へ訪問されています。私のパラオ共和国訪問の報告と今後の展開などについてお話をいただきました。

～12月定例会での陳情～

12月定例会では、3件の陳情について審査が行われ、特に「陳情第6号 市民や団体との協働によるスポーツツーリズムの推進に関する陳情」は大きく賛否が分かれ、賛成10人・反対13人で不採択となりました。

私は、さらなるスポーツツーリズムの推進は必要であることに加えて、不採択にするだけの明確な理由がないことから、本会議において賛成討論を行い(気になった点は指摘しました)、賛成の立場を取りました。

本陳情は不採択となりましたが、請願・陳情とは何かを再認識する大変良い機会となりました。賛成討論時に発言しましたが、市民の要望・意思である陳情は、できる限り請願と同じく慎重に審査を行うことが求められるわけです。

私は、請願・陳情について引き続き、市民の声として可能な限り尊重し、自らの立場を明確にしていきたいと思えます。

陳情第6号												議長	表決中				
井川亮雄	谷典枝子	長浜成仁	立川優一	若木明男	榎塚剛	田邊義典	船川快郎	長岡雄	小林隆一	小倉隆一	大山圭司	早川貴光	池澤木実	神宮次秀雄	藤澤政夫	澤田裕之	重嶋雄二
山本直巳	宮野実	藤野龍明	池田洋子	川嶋一	久保貴洋			出席議員数 24人		賛成 10人		表決総数 23人		反対 13人			

【陳情第6号の表決画面】

～YouTubeチャンネル「なるちゃんねる」～



佐野市が抱えている課題や問題、市議会で取り上げられている話題などを私の視点でお伝えしています(不定期)。

※InstagramとかXもやってます。(アカウント名:nagahama_naru)

～ひと言～

政策の正当性を訴えるには、**ファクト**と**ロジック**が大切だと思います。

【HP・お問合せ】

